

末川博士還曆祝賀論文集（「立命館経済学」第一卷第五・六号）

内 容

経済学と地理学との関係

淡 川 康 一

農地改革の結果の二・三について

阿 部 矢 二

近世における畿内在郷商人の高利貸資本について

足 立 政 男

——山城国乙訓郡神足村絞油商油屋弥兵衛（現岡本家）の場合——

中小企業対策としての調整組合に関する問題点

井 上 巖 次 郎

リカードオ理論における貿易による搾取の問題

井 上 次 郎

わが国漁業における共同経営の典型

大 山 敷 太 郎

資本論の学的体系性

梯 明 秀

——冒頭文節の体系的意味を分析するための序説として——

経営における職制組織

祭原光太郎

東南アジア貿易の振興と経済開発について

高見沢茂治

労働協約と社会保障

平田隆夫

ドッグ恐慌論の検討

松田弘三

——恐慌論の基本問題について——

ヒュー・ダルトンに於ける経費に関する理論

箕浦格良

財閥解体政策の基盤とその変遷

武藤守一

——日本経済の従属化と軍事化への序説——

アメリカにおける労働組合の特質と協約のパターンについて

森川信

米国に於けるアクセレレーション問題

宇都宮巖

フィリップ・シドニーに就いて

岡橋祐

学を究め理を追うには冷静でなければなら
ない。だが、学を貫き実践に生きるには情
熱をよつてすることを要する。

— 末 川 博 —